

糸魚川市 六反田南遺跡VI 現地説明会資料

平成 23 年 9 月 18 日(日)

国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所

新潟県教育委員会

(財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団

1 遺跡の概要

六反田南遺跡は、糸魚川市大和川に所在し、日本海の海岸線まで直線にして 250mの距離で海に近く、海川下流右岸の沖積地に立地しています。

発掘調査は、一般国道 8 号糸魚川東バイパス建設に先立ち平成 18 年から継続して行っています。これまでの調査で、縄文時代中期、古墳時代、奈良・平安時代に断続的に営まれた遺跡であることが明らかになっています。特に、標高 3～4 mの地点から縄文時代中期の竪穴住居や土器、石器などを捨てた廃棄場が見つかり、県内の縄文時代中期としては珍しい低地に集落が営まれています。

今年度の調査では、これまで縄文時代中期、古墳時代前期、平安時代の遺構・遺物が見つっていますが、平安時代（9世紀前葉）の遺構で長軸 14m以上の大型掘立柱建物、それに付属する建物群などが見つかり急遽、現地公開することになりました。古代頸城郡沼川郷を拠点にしていた在地領主層の館の可能性がります。

2 建物の大きさ : 掘立柱建物（地面を掘った穴の中に柱の根元を入れて建てた建物）

・平成 23 年度調査で検出した建物

建物 1 : 長軸 14m以上柱間 7 間以上、短軸 6 m柱間 1 間以上の東西棟の側柱建物（全体未検出）

建物 2 : 長軸 13m以上柱間 6 間以上、短軸 5.5m柱間 2 間の東西棟の側柱建物

建物 3 : 長軸 11m柱間 5 間、短軸 5 m柱間 2 間の東西棟の総柱建物（全体未検出）

建物 4 : 長軸 9 m柱間 4 間、短軸 5 m柱間 2 間の東西棟の側柱建物

建物 5 : 長軸 5 m柱間 2 間、短軸 4 m柱間 2 間の東西棟の側柱建物

建物 6 : 長軸 5 m以上柱間 3 間以上、短軸 5 m柱間 2 間の東西棟の側柱建物（全体未検出）

・平成 22 年度調査で検出した建物

建物 7 : 長軸 11m柱間 5 間、短軸 5.2m柱間 2 間の東西棟の側柱建物

建物 8 : 長軸 6 m柱間 3 間、短軸 3 m以上柱間 1 間以上の東西棟の側柱建物（全体未検出）